

令和8年3月第1回 木島平村議会定例会 行政事務一般質問通告書

【木島平村議会議員 山浦 登】

質問事項	質問要旨	答弁者
1. 令和8年度一般会計予算について	<p>令和8年度一般会計予算に対し、8点質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険税改定について <ol style="list-style-type: none"> ① 今回の国保税改定は、子ども子育て支援給付金課税額に充当する国保税額の増額ということであるが、課税要件が多種で分かりにくい。標準課税世帯で改定額・税の値上げ額はどのくらいか。 ② 他医療保険と国民健康保険との制度比較をすると、一人当たりの保険料(税)は協会けんぽの1.3倍、組合健保の1.7倍。国保には家族人数に応じた均等割があり、協会けんぽとの差が2倍に広がる。全国の国保保険料(税)の滞納者率は11.5%となっている。本村においても実状は同様と思われる。国の方針とは言え、このような制度上の不公平、被保険者の実情、負担能力からみて改定に反対するが、今回の改定(値上げ)をどのように考えるか。 ・地方交付税について <ol style="list-style-type: none"> ③ 歳入の地方交付税を19億5千万円、その内訳は普通交付税18億5千万円、特別交付税1億5千万円としているが、去年は18億5千万円で1億円増額している。地方交付税は村の財政の歳入で45%を占めている収入税源であるが、1億円増額の根拠はどのように見込んでいるのか。 ④ 地方交付税の予算化には、留保財源を見込んでいると思うが、いくらか。この留保財源は、年度中に突発的に発生した支出の際の予備費的役割を持っているわけだが、いくら見込んでいるのか。 ・堆肥センターについて <ol style="list-style-type: none"> ⑤ 農林水産業費の堆肥センターの改修工事として1億4,058万円が計上されているが、どのような改修工事か。 ⑥ 今後、施設の継続性を考えると、早期に移設や開放型か密閉型か、色々検討、議論する必要がある。今から方向を決めて取り組まなければ間に合わないと思われる。現在までの検討状況はどうか。 ・財政調整基金について <ol style="list-style-type: none"> ⑦ 基金残高と村債務残高の推移を見ると、令和6年基金残高が3千万円強多いのに対し、令和8年見込みでは地方債残高が基金残高を4,500万円上回っている。財政計画では、財政調整基金残高は令和6年9億9,400万円から年々減少し、令和11年—1億8,500万 	村長

令和8年3月第1回 木島平村議会定例会 行政事務一般質問通告書

【木島平村議会議員 山浦 登】

質問事項	質 問 要 旨	答弁者
<p>3. 高齢者対策・過疎化対策の総合的な取組について</p>	<p>本村の高齢化率は2020年40.9%(全国平均28.7%)であり、今後2050年までに13.4ポイント上昇し、54.3%と村民の半分以上が高齢者と予測されている。また、一人暮らしの世帯は、1980年104世帯であったが、2020年では362世帯と3.4倍に増加、高齢化が急速に進むと予測されている。そこで過疎化、高齢化社会の将来を見据えて、総合的な対策として提案型の質問をするので考え方を伺う。</p> <p>① 買い物難民対策として、昔のホームカーの方式で食料品の移動販売を農協や社協と協同で事業化できないか。また、社協でボランティアによるふれあいランチを実施しているが、配食サービスを事業化して回数を増やすなど充実させ、高齢者の健康管理、日常生活支援、生活相談、冬季の生活支援等、総合的支援体制をつくり、高齢者や生活弱者が安心して生活ができる支援体制ができないか。</p> <p>② 近年、村内では商店や飲食店が閉店し、日常生活に支障をきたしている。過疎化の進行につれて村の活気が失われてきている。これらをどのように考えているか、その対策を伺う。</p> <p>③ 高齢化・過疎化の進行する将来を見据えて移住定住事業を進めるとともに、一人暮らしや弱者、希望する人の合意のもと、コンパクトシティ的な持続可能な共同住宅建設が必要ではないか。</p>	<p>村 長</p>